

雜 錄

●伯國滿俺鑛輸出高

歐洲開戰後伯刺西爾生產物

にて其輸出を増加せるもの頗る多し、滿俺鑛の如きも其重要なるもの一なり、今滿俺鑛の輸出増加を示す左の如し。

年 次	數 量 噸	價 額
一九一〇年	二五三、九五三	五、七二〇
一九一一年	一七三、九四一	三、八七五
一九一二年	一五四、八七〇	三、四四六
一九一三年	一二二、三〇〇	二、七二一
一九一四年	一八三、六三〇	四、六八〇
一九一五年	二八八、六七一	一〇、五三〇
一九一六年	五〇三、一三〇	二九、五〇四

千九百十六年と前年とを比較するに數量に於て二十一萬四千四百五十九噸價額に於て紙幣一萬八千九百七十四コント此英貨九十四萬二千磅を増加せり、而して此の如く急激に増加せる所以のものは歐洲戰亂の結果と認めざるを得ず世界に於ける滿俺鑛の重要產出國は露西亞、英領印度及伯刺西爾の三國にして就中露西亞の產出最も多く英領印度之に亞き當伯刺西爾は僅に第三位に立てり、然れとも開戰後に於ける露西亞及び印度の產出統計は之れを知る能はざるも其額非常に減少したるに相違なく殊に露西亞に於て然るものゝ如し而して之を補充する爲め伯刺西爾滿俺鑛の輸出増加となれるなり(在サンパウロ松村總領事報告)

●英領哥倫比亞州鐵鑛開掘計畫 本件に關しバ
ンクーバー駐在領事より本年三月二十九日附を以て左の如く報告あり(外務省)

鑛業は當洲に於ける主要なる産業の一にして洲内各地に金、銀、銅、石炭等有用鑛物の產出少からず、然に鐵鑛として知らるるものは比較的少くバンクーバー島と本洲との間にあるテキシーダ島(Texeda Island)に於て從來より多少本品の產出あり、右の外バンクーバー島西岸のバークレー、サウンド(Barkley Sound)附近のシーシャルト(Becharlt)鐵鑛も多少試掘せられたるとある由なるか未だ兩者共に大規模の採掘を爲し居ると云ふ程にあらざりしか歐洲戰亂の結果鐵價の暴騰したるより今回ハーリー、ランダー(Harry Landahl, 1022 Metropolitan Bldg. auconver B. C.)なるもの會社組織に依り此兩者の採掘に著手する計畫にて且つシーシャルト鐵鑛は磁鐵鑛にして其採掘の一部は其儘之を本邦へ輸出したき希望を以て當館に對し該鐵鑛の分析表を添付し其概況を報し來れり、仍て本邦當業者の参考に供する爲之を譯出すへし。

一、シーシャルト鐵山鑛石の見積總額は二三〇、〇〇〇、〇〇〇噸にして其確實に採掘せらるべきもの約七八、〇〇〇、〇〇〇噸あり

二、毎日約二千噸に對する熔鑛爐を設備するの計畫なるも本邦に於ける需要額明なる時は直に之に應ずる產出を爲

し得へき豫定なり。

三、該鐵鑛の原價に關しては未だ決定し居らざるも本邦當業者の註文に應し得へき積りなりと云ふ。

四、該鐵鑛所在地の運輸狀況は良好と謂ふへからざるも海岸に近きを以て愈々開掘に著手したる曉は相當埠頭設備を完成すへく且つ本邦へ輸出開始せらるるに於ては比較的深水なるを以て或は汽船を同地へ回漕することを得へしと云ふ。

五、前記鑛鑪の完成までには尙ほ一箇年の月日を要すへきも若し本邦より註文あれば三箇月後には鐵鑛を輸出し得へしといふ。

ビー、シー、洲、シー、シャルト、鑛山、磁鐵鑛分析表

	鐵分	珪酸	磷酸	硫酸	磁酸化鐵	石灰分
標本一號	六三・一〇	四・三三	〇・〇〇三	〇・〇一〇	〇・一三〇	三・二〇〇
同二號	六三・一〇	三・〇〇	〇・〇〇六	〇・〇一三	〇・一四〇	三・一〇〇
同三號	六三・〇八	三・〇〇	〇・〇〇六	〇・〇一〇	〇・一五〇	三・〇六〇
同四號	六三・〇〇	三・〇〇	〇・〇一〇	〇・〇一〇	〇・一四〇	三・〇〇〇
粉末鑛	六四・〇〇	三・五〇	〇・〇一〇	〇・〇一〇	〇・一六〇	三・〇〇〇

以上は英國 Middeborough に於ける Balklow Vanghan & Co. のクリーヴランド工場に於て分析したるもの。

	標本一號	標本二號	標本三號
珪酸	一・七九	二・一六	二・一〇
明礬	〇・一四	〇・二五	〇・七五
磁酸化鐵	九一・一三	八八・四〇	八九・七五
炭酸石灰	〇・九六	五・七〇	四・六一
酸化マンガン	〇・八四	〇・七一	〇・六三

雜錄

炭酸マグネシウム	二、〇八	二、二五	二、三四
酸化タイヤニツク	痕跡	なし	なし
銅	なし	なし	なし
硫黄	〇・〇六〇	〇・〇九一	痕跡
砒酸	〇・〇〇七	〇・〇〇九	〇・〇〇七
亞砒酸	なし	なし	なし
鐵分	〇・〇〇三	〇・〇〇四	〇・〇〇三
鐵	六六・三二	六四・一〇	六四・九二

以上はピッツバーグにて分析せるもの

●獨逸の鐵及鋼の產出額 (通商公報三五六號)

(伯林駐在米國總領事報告)

千九百十五年中鋼の產出額は千三百十八萬七千六百十六佛施にして前年の千四百九十四萬六千二百十二佛施に比し幾分減少を來せるは勞力供給の困難ありしに因る、尙千九百十五年中製鐵及製鋼業に取りて最も重要な出來事はライツセン組 (Thyssen group) が製鋼業同盟より脱退せんとしたるにありたれとも直ちに協議會を開きて和談を成立せしめたるを以て該同盟の大改造を加ふるの必要なに至れり左に千九百十四年及十五年中獨逸國に於ける銑鐵及鋼鐵產出額月別統計表を掲げん(單位佛施)

月次	銑鐵	鋼鐵		
一九一四年	一九一五年	一九一四年	一九一五年	
一月	一五六、五〇五	八七四、一三	一五八、七三	六六、七三六
二月	一四四、五二一	八〇六、六三	一四八、〇三	六四、〇一五
三月	一六〇、三二四	九六八、四六	一五九、七二	一〇九、八七三
四月	一五五、四三六	九八六、七九	一四七、六三	一〇三、三三四
五月	一六〇、七三二	九八六、六六	一五八、九三	一〇三、五二五

六四一

月	六	七	八	九	十	十一	十二	合 計
月	一五二、八三六	一五七、九四四	一五七、六六一	一五〇、〇七七	一五九、八四二	一五八、九六六	一五八、八四二	一四三、九〇六
月	九三、四九六	一〇四、七〇三	一〇四、六六〇	一〇三、〇八六	一〇六、六四三	一〇九、一三三	一〇九、一四四	一〇九、五九四
月	一五七、七六〇	一六三、四四五	一六六、八三三	一六三、三三三	一六〇、一〇一	一六〇、三六六	一四一、三九六	一四八、七四六
月	一〇三、五五五	一一一、六七三	一一四、五五〇	一一五、五二九	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七
月	一〇三、五五五	一一一、六七三	一一四、五五〇	一一五、五二九	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七
月	一〇三、五五五	一一一、六七三	一一四、五五〇	一一五、五二九	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七
月	一〇三、五五五	一一一、六七三	一一四、五五〇	一一五、五二九	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七
月	一〇三、五五五	一一一、六七三	一一四、五五〇	一一五、五二九	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七
月	一〇三、五五五	一一一、六七三	一一四、五五〇	一一五、五二九	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七
月	一〇三、五五五	一一一、六七三	一一四、五五〇	一一五、五二九	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七	一一三、八二七

●南支那に於ける製鋼事業

(千九百十六年十一月二十八日香港駐在米國總領事報告千九百十七年一月三十日米國通商公報所載)

南支那に於る銑鐵の生産、製鋼業及一般鐵工業は曾て危機に到達したるか今後數月にして大なる發展をなさんとするの兆候あり、而して日本の各種實業家は南支那の鑛山探掘權を獲得し且同地方の需要に應ずる爲香港又は其附近に製鋼所を設立せんと目下協議中に在り、右製鋼所は特に直徑五吋以下の形鋼及厚半吋以下の鋼板の製造を主とするものゝ如く蓋し當地方は此種のものに對して最も需要多く加之此等は比較的低價なる設備を以て製造し得ればなり。

香港鑄鋼株式會社(The Hongkong Steel Foundry Co. Ltd.)は五年前の創立に係り從來秘密の方法を以て屑鐵より鋼塊又は其他の鑄造物を製造し需要多き場合には鐵鑛石又は銑鐵より之を製しつゝありしか同會社は爾來漸次發達し現今に於ては一組四個より成る爐二組を有するに至れり、而して専ら屑鐵のみを使用しつゝあり本會社の目的とする處は

其の報告書にも表はれたる如く南支那に於ける鐵鑛石を左右する程度に製鋼設備を擴張せんとするに在り、此の目的の爲に會社は廣東洲に數百エークルの土地購入權を所有せるか此の地に完全なる工場を設け尙鐵道事業其他香港廣東間の運輸事業をも經營せむとするの計畫あり、而して之に對する支那政府の認可は計畫進行次第にて何時にても下らんとする狀況に在り只外資の輸入を要するものなるか現在一般事業界の趨勢竝に戰亂の關係上右の資本は日本又は米國よりするの外他に途なかるへし。

米國投資の好機會

今や米國は此の計畫に對して資本を放下するに付特別の好機會を有するものなるや疑を容れず、蓋し該事業に對する此の地方の需要旺盛なるに加へて一般の販路も廣汎にして現在の製造能力を以て足らず、爲に歐洲及米國より注文せられたる材料も豫定の時期に到着せしむる能はざるの模様なり、而して當地に於ては目下の狀態に在ても歐洲又は米國と比較して製造價格有利なるものあるか如く又現今運賃の利益のみを以てするも充分他の多くの困難に打勝つことを得へし、要するに南支那に於ける製鋼事業の發展は一般工業上より見るも其の他の方面より見るも極めて重要事にして此地方將來の繁榮如何は大部分此の點に係ると云ふも不可なしと信す。

●露國ウラル地方に於ける鐵鋼生産額

(千九百十七年一月四日英國商務院週報所載)

千九百十五年及千九百十六年上半年に於ける露國ウラル地方の鐵鋼生産額左の如し

品 種	千九百十五年 一月至六月	千九百十六年 一月至六月
各 種 鐵	七九、一〇〇 米	七一、〇〇〇 米
汽罐製造用鐵	一九、三〇〇	八、八〇〇
上等鋼及鐵	三一、三〇〇	一〇八、九〇〇
銑 鐵	四五八、八〇〇	四五七、〇〇〇
軌道用鐵	六三、五〇〇	二一、七〇〇
屋背用鐵	一四〇、七〇〇	六七、八〇〇
計	七九二、七〇〇	七三五、二〇〇

目下ウラル地方リスベンスキー工場に於て第一級工具用鋼の製造に従事せり、尙戰後に於ける生産増加の爲め各般の準備を整へつゝあり。

●西班牙菲律賓間の航路に付て

(千九百十七年一月三日西國バルセロナ駐在米國總領事報告、米國通商公報所載)

西班牙に於て菲律賓諸島と貿易上利害關係を有する製造業者及商人等は同島との間に曾て存在したるか如き頻繁なる航路を本年中再び開設せんことを政府に勸説せり、然るに或る一面に於ては西班牙より菲島向船荷僅少なるか故に現に従事中の航路も來四月よりは全然廢止せざるへからす

と論するものありしか之に對しマニラに於ける西班牙人商業組合は斯かる極端なる方策の將來齎すべき不利益の結果に付き世論の注意を喚起する處ありたり。

統計の示す處に依れば西班牙の菲島より輸入する所菲島への輸出高の約二倍に達せり西班牙側の輸入品は主として煙草、油質の種子、大麻、亞麻、「アデーグ」黃麻等の植物纖維類にして輸出品は織物、紙類、葡萄酒、油、靴、罐詰魚肉、罐詰蔬菜類等とす。

西班牙駐在各米國領事の報告する處に依れば西班牙より菲島への輸出額は

千九百十四年	一、一一八、一七四弗
千九百十五年	八五九、四四六
島務局の統計に依れば菲島より西班牙への輸出額は	
千九百十四年	二、二五六、三三七弗
千九百十五年	二、五九二、一一八

●英國製鋼業

本件に關し在倫敦總領事より本年三月七日附を以て左の如く報告あり(外務省)

一、英國政府の措置

千九百十六年英國鐵鋼業に取りて最も顯著なる事實は英國及び聯合國の軍需に應ずるの必要上英國政府が斯業に對して施したる措置に在りとす、軍需額増加し供給需要の増進に伴はざるや英國政府は中立國に對する鐵鋼の輸出を禁ずると共に國內一般消費及聯合國への輸出に對し嚴重なる

制限を加へたり、其結果直接間接軍需品の製造に従事せる者は相當需要額の分配を受けたりと雖も市場の一般的需要に對しては銑鐵及鐵鑛の供給殆ど其跡を絶つか如き狀態と成れり且つ又需要供給の均衡を失したる結果市價の奔騰を見るに至るや政府は内地向最高相場を限定し投機取引を禁するの手段を採りたり。

二、クリーブランド銑鐵生産高

千九百十六年中クリーブランド銑鐵取引は全然軍需省監督の下に置かれ軍需品製造以外の國內一般的需要及聯合國への輸出に對し嚴重なる制限を加へたるか要するに是れ供給需要に適應する能はさりしかためなり、而して這般需給の不適應は戰前一時市場在荷の過多に失したるを調節せんかために生産に制限を加へたることありたる以來千九百十四年後半期及千九百十五年に於ける需要の減少鐵鑛の供給不十分勞働者の減退及一般商業界不振の影響に外ならず、之を作業せる鎔鑛爐の數に徴するも千九百十四年末に於ては其數七十三なりしか千九百十五年末には僅に六十七なりき千九百十六年に入りては軍需の激増に伴ひ極力生産高の増加を圖りたりと雖も勞力及鐵鑛を得るに困難なりしか故に年末に至り漸く七十六（其中クリーブランド銑鐵熔爐三十 Hematite 熔爐二十四其他鐵材熔爐十二）を算するに至りたるに過ぎず、此の如くにして銑鐵生産高は約三百二十萬噸にして千九百十五年に於ける二百八十五噸に比し約三十

萬噸の増加を示せりと雖も之を千九百十四年に比すれば十二萬噸千九百十三年に比すれば六十六萬噸の減少なり、左に千九百十年以後銑鐵生産高を示すへし。

一九一〇年	三、六七九、四七三噸	一九一四年	三、四二〇、〇〇〇
一九一一年	三、七〇三、二三〇	一九一五年	二、八九二、五六五
一九一二年	三、三五七、七〇八	一九一六年	三、二〇〇、〇〇〇
一九一三年	三、八六九、〇〇〇		(概算)

附記一九一六年銑鐵生産豫想高増加の大部分は Hematite にして生産豫想高を分別せばクリーブランド銑鐵百三十萬噸 Hematite 其他鐵材百九十萬噸なりとす。

三、クリーブランド銑鐵市價

年初に當り内地向にも輸出向にも需要増加の形勢顯著なりしに拘はらず生産減少の兆ありしを以て取引相場は昇騰し二月二十二日に至りては現物九十八志四片半を報するに至りたるか三月二日政府は樞密院令を以て第三號銑鐵最高内地相場を八十二志六片に限定すると共に投機取引を禁し一切の投機取引關係は五月三十一日までに仕末を付くべきとを命したり、此の如く内地取引相場は限定せられたりと雖も輸出向相場に對しては何等制限を置かれされしを以て現物相場は愈々騰貴し三月平均相場は八十九志なりしか五月には九十四志と爲り六月には百志と爲れり又中立國に對する輸出禁止の結果輸出は殆ど佛及伊に限れるか如き狀態を呈し七月以後年末に至るまでは右二國に對する船渡相場九十七志六片なりしか現物に對する需要頗る激熾にして中

には百二志六片を拂ひし者もありたりと傳へられ千八百七
十三年に於ける第三號百二十志を除き他に比類なき高値を
示したるか千九百十六年に於ける平均市價は八十二志十片
十八にして千九百十五年の六十志八片に比し約二十二志二
片十八、千九百十四年の五十一志一片八十七に比し三十一
志八片三十一、千九百十三年の六十志〇片四十六に比し二
十二志九片七十二の騰貴なりき、左に千九百十六年中第三
號M. G. B. の各期平均市價を掲げ前年の其れに對比すへし。

一九一六年		一九一五年	
自一月至三月	七二、一一、一八	五二、八、九五	
自四月至六月	八一、五、九六	五八、七、三〇	
自七月至九月	八七、一一、三一	六四、〇、五四	
自十月至十二月	九八、〇、六七	六七、四、一六	

四、銑鐵輸出

千九百十六年銑鐵輸出高は六十萬九千三百噸にして千九
百十五年に比すれば二十二萬六千六百噸千九百十四年に比す
れば十萬九千六百噸の増加なり、然れとも英本國に於ける諸
港への出荷高に至りては一萬八千六百噸に過ぎずして千九百
十五年に比すれば二萬七千二百噸の減少、千九百十四年に
比すれば四十一萬八千二百噸の激減を示せり、蓋し聯合諸
國に對する輸出を可能ならしむる目的を以て蘇格蘭地方へ
の出荷に制限を加へたる結果とす、而して中立國への輸出
は五月に至り禁止せられたり又輸出額の増加は佛國への輸
出激増したるに基由す、千九百十六年クリーブランド地方

よりの銑鐵輸出高を示せば左の如し(單位噸)

	一九一六年	一九一五年	一九一四年
輸出先			
和 蘭	三、二一〇	一〇、九〇二	八九、二八九
支那及日本	二七、九六七	三二、九六九	四四、六三〇
白耳義	〇	〇	三一、八六六
佛蘭西	四二九、九六二	一〇八、四八一	五二、三三〇
伊 太 利	七〇、三五五	七一、五七一	六八、八七四
瑞典及諾威	二八、九四八	一〇一、三〇九	一一二、四一二
米 國	二〇、六八四	一四、一二八	二六、〇九〇
威爾斯	一、一三六	〇	八四、九五〇
蘇格蘭	六九〇	五、七四二	二七四、七〇〇

五、英國市場銑鐵在荷の減少

開戦後銑鐵の在荷は漸次増加し千九百十五年五月に至り
十五萬二千九百噸を算したるか爾後月を逐ひて減少し千九
百十六年一月には九萬五千八百噸となり、十二月に至りて
は僅に三千七百噸を算したるに過ぎず、左に一月以後銑鐵
在荷減少の趨勢を示すへし(單位噸)

一 月	二 月	三 月	四 月	五 月	六 月
九五、八五四	八二、〇一七	五七、三一〇	四〇、四〇五	三三、二一六	二九、四七〇
七 月	八 月	九 月	十 月	十一 月	十二 月
二三、八〇〇	一六、〇三五	一二、五九〇	四、四三四	四、一七三	三、七三八

六、鐵鋼製品

千九百十六年英國に於ける鐵鋼製作工場は總て英國及聯
合國政府軍需品の製造に従事し軍需品以外の一般的需要に
對しては殆ど其供給を絶ちたるか如き狀態を呈したり、造

船材料に至りては佛國に輸出せられたるもの未曾有の巨額なりしと雖も之を前年に比すれば輸出總額に於て十三萬二千九百噸の減少を示せり、鐵鋼製品の市價は一月内地向最高市價の設定あり、四月及十一月に於て該最高市價の改正ありたり、左に一月及十二月に於ける造船材料の市價を掲げ併て其千九百十五年一月に於ける市價を示すへし。

	一九一五年 一〇、〇〇	一九一六年 一〇、〇〇	一九一六年 一〇、〇〇
造船用鋼板	八、〇〇	一一、一〇	一一、一〇
同 鐵板	七、一五	一一、〇〇	一一、〇〇
汽罐用鋼板	八、五〇	一一、〇〇	一一、〇〇
鋼葉單葉	八、五〇	一一、〇〇	一一、〇〇
同 複葉	八、一〇	一一、一五	一一、〇〇
鋼船用角	七、一五	一一、二六	一一、二六
鐵船用角	八、〇〇	一一、一〇	一一、一五
鐵 棒	八、〇〇	一一、一〇	一一、一五
鋼 桁	七、一〇	一一、二六	一一、二六
重鋼レール	六、七六	一一、〇〇	一一、二七

七、鐵鑛の產出輸入並に市價

徵兵制度實施に依る勞働者の減少に加ふるに補缺勞働者は採鑛上の經驗乏しきものなるか故に千九百十六年クリーブランド鐵鑛產出高は千九百十五年に於ける百七十四萬六千噸に比し約五十萬噸の減少にして千九百十四年に比すれば百三十二萬噸、千九百十三年に比すれば百六十九萬噸の減少を示せり、而して本年末作業中の鐵鑛山は其數二十にして前年末と同數なるか就働者數は七千六百七十九人にして千九百十五年末に比し百十六人を減したり而して鐵鑛の山

渡平均相場は約七志にして昨年に比すれば六片、千九百十四年に比すれば二志六片、千九百十二年に比すれば二志の騰貴なり、外國產鐵鑛のミドロス、ポロー輸入高は二百七萬噸にして千九百十五年に比すれば三十一萬噸千九百十四年に比すれば三十九萬噸の増加なるか千九百十五年に比すれば十八萬噸の減少なり。

●戰時英國の製鋼業

(通商公報第三六一號)

△鐵鑛の產出額は左の如し

一九一二年	一三、七九〇、三九〇噸
一九一三年	一五、九九七、三二八
一九一四年	一四、八六七、五八二
一九一五年	一二、九七六、一〇五

一九一五年の產額中二、六〇〇、〇〇〇噸はリンコルンシャー、二、五〇〇、〇〇〇噸はノーサンプトンシャー、一、三〇〇、〇〇〇噸はガムブランドシャーより產出せるものにして同年は戰時鐵鑛の需要多大なりしにも拘らず勞働の供給十分ならずと鐵道車輛船腹の缺乏等は自然鐵鑛の產出に影響を及ぼしたる物にして此影響は益々大ならんとせり。

△製鐵製鋼及鐵鋼の輸出

千九百十五年に於ける英國銑鐵の製產額は八百七十九萬三千六百五十九噸にして前年に比し十三萬百十四噸を減少せり、千九百十五年の銑鐵產額を其種別に依り分類すれば左の如し(單位噸)

Forge

一、〇二四、〇六三

Foundry

一、五七三、五七五

Basic

二、二七二、六八四

Hematite

三、五六四、二六二

Spigel, Ferro-Manganeses, Ferro-silicon 二五五、四八四

Direct Castings

一〇三、五七七

其 他

五三、〇〇〇

而して千九百十五年に於ける銑鐵の總輸出額は六十一萬千六百十七噸にして總輸入額は十九萬九千八百八十噸なるか故に千九百十五年英國に於て消費せられたる銑鐵總額は八百三十七萬六千二百二噸なり、昨年英國に於ける鍛鐵材(鐵板、線、管桿等を指す)の製造額は六百三十二萬五千八百四十四噸なり、昨夏英國政府は軍需省を特設し國內の鐵工所機械工場の大部を徵發し之を軍需省監理の一つに置き兵器彈丸の製出に製造力を傾注せしめたる以來其材料たる鋼鐵に對する需要激増し産業用鋼鐵製品の產出は爲に頗る減少したるか政府は夙に海軍用にも多量の鋼材を需要し其他國內造船用にも鐵鋼材に對する必須の需要を生したる爲め鐵鑛のみならず、漸次鐵鋼製品の輸出を禁止せらるゝに至り今や鐵鑛の輸出は頗る困難と爲れり。

△銑鐵及鐵材の市價

銑鐵及鐵材の市價は戰時益々昇騰しつゝあり、昨年及今年上四半期英國に於ける銑鐵の平均市價を示せば左表の如

し。

一九一五年

W. Cast Hematite Cleveland No 1. Cleveland No 3.

一 月

八〇、〇六

五七、一〇

五五、〇九

二 月

一〇一、〇三

五八、〇七

五六、〇七

三 月

一〇三、〇一

六一、〇九

五九、〇九

四 月

一一三、〇六

六九、〇一

六七、〇一

五 月

一一一、一〇

六七、〇五

六五、〇五

六 月

一一四、〇五

六九、〇三

六六、〇七

七 月

一一六、〇三

七二、〇五

六七、〇五

八 月

一一五、〇五

七一、〇九

六六、〇二

九 月

一一四、〇〇

七〇、〇一

六五、〇四

十 月

一一八、〇二

六九、一〇

六五、一一

十一 月

一三一、〇三

七四、〇四

七〇、〇四

十二月

一三九、〇六

七九、〇七

七五、〇八

一九一六年

一

八四、〇一

八〇、〇六

一 月

一

九七、〇五

九三、〇八

二 月

一

八七、〇一

八四、〇一

三 月

一

一

一

本年三月末以後は英國政府に於て最高價格を定め内國に於て消費者への賣値段は同制限に依ることと爲れり、又參考のため鐵材市價の騰貴を表示すれば左の如し(英國北部製鐵業者組合の調査に據る)

一九一四年

七、〇四、〇〇

七、〇〇、〇三

七、一一、〇六

十一月—十二月

七、〇四、〇〇

七、〇〇、〇三

七、一一、〇六

一九一五年

七、〇四、〇二

七、〇一、〇四

七、一二、一一

一月—二月

七、〇一、〇一

七、一三、一一

七、一四、〇九

三月—四月

七、一六、〇三

八、〇〇、〇三

八、〇六、〇四

五月—六月

八、〇九、〇四

八、一九、〇七

八、一八、〇六

七月—八月

八、〇九、〇四

八、一九、〇七

八、一八、〇六

九月—十月 八、一五、〇一七 九、〇〇、〇三三 九、〇六、〇〇〇
十一月—十二月 九、〇六、〇〇八 九、一三、一一一 九、一四、〇三三

●朝鮮重石鑛合同

朝鮮忠清北道提川郡廣川洞及月

岳里兩タングステン鑛區競願者は總督府の德憑により合同に決し曩に競願者は約三十名の代表者と會し第一回協議會を開き専門技師をして調査の上價格の決定をなさしむる事とせるか今回技師調査の結果に基き第二次の會合を催し廣川銅鑛區の入札最低價格を金四萬圓となし月岳里の鑛區最低價格を金二萬五千圓と決し競争入札か豫定價格に達せざる時は合同者中事業經營を希望する人と合同より脱退を希望する者の二派に分ち左の如く處理する事に決せりと

- (一) 合同を脱退せんとする者へは競争入札者最高一人割の六割を殘留者より支拂ふこと
- (二) 殘留者の出資金に對しては年一割二分の優先配當をなす事
- (三) 事業經營方法及資本金募集其他の件は殘留者に於て更に協定すること
- (四) 四月十日午前十時入札を行ふこと

●大戦争と歐洲交戦各國の實狀

東京交換所經

濟調査會に於ては九日午後一時銀行集會所に目下來朝中なる米國有數の新聞社主エスエスマックルーア氏を招待し歐洲交戦各國の狀態に關する講演を聴取したり、マ氏は交戦各國に滞在せしこと六ヶ月乃至八ヶ月に及ひたることゝて最も詳密に交戦各國の事情に通し居る由なるか同日試みたる講演の大意は左の如し。

獨逸は多年領土的野心を有し特に亞細亞土耳其古を併呑してボスボラス海峡を扼し是に依りて蘇士及北亞弗利加を其軍事上の勢力下に置き以て歐羅巴の咽喉を制扼せんとせり然るに亞細亞土耳其古の英國に於けるや恰も鮮滿の日本に於けるか如く其一度獨逸の手に入るに至れば英國は恰も日本か鮮滿の地を擧て之を露國に併有せしむると同様の結果に陥り英國は之を坐視するに忍びざる也。

▲大戦争の近因 即ち兩國は其爭端を未然に防かんと欲し千九百十四年六月英獨條約を締結せんと試みたり而して其條約の要點は(一)獨逸はバクダットを得ると同時にバレスチン及南セルビヤは之を佛國に與へ又獨逸はスエスに對して保護權を得ること(二)英國はメソポタミヤ、チグリス、ユーフラチスの航行權を得ると共にペルシャの海口たるクロイエを得ること等にして該條約にして成立せはモロッコ問題及千九百七年の英露條約を解決するを得べく從つて其領土擴張の野心を抑制し互に平和を持續するを得たりしなり嘗て余か獨逸宰相ホルデン同外相ヤゴー及奧國外相等に接見せるや其温厚なる態度に於て敬虔の念を生せしと雖其の事物の眞諦に對し徹底的の判斷を得す且政治家に尊むべき意志の強固を缺けるを感じたるか果してセルビヤ皇子の死に接し奧國外相は誤れる強力を發揮して止まる所に止らず無謀に邁進せり又獨逸宰相も軍人其他思慮なき民衆の騒ぎを制するを得ず爲に豫想外の結果を惹起せり獨のチンメル

マンの如き日本が獨逸と同盟して聯合側に對抗すとの巷説を信せるか如き眞面目の政治家と認むるを得んや其他カウソツエントの如き外交の辭令に富み表面極めて温厚なるも其意志の薄弱なるは實に笑ふに堪へたり是等の人々か政治上責任の地位に立ちたる結果遂に千九百十四年末の慘劇なる大戦争の序幕を切落したるを遺憾とす。

▲獨逸の保健状態 モーヌの戦争は英佛をして相當の準備をなす餘地を存せしめたるか該戦争に於て獨逸の斯く大敗したるは彈藥の缺乏に基くものにして其結果モルトケの轉任を見るに至りたるか斯る出來事を生したるは結局獨逸の準備足らざるを語ると共に今回の戦局は全く獨逸の意表外に發展したるを證明するものあり而して獨逸の食料健康其他の保健状態を見るに千九百十六年秋迄に於る獨逸人の健康は從來に比し良好にして其死亡率は減少せり其重なる理由は一歳未満の小兒に對しては牛乳又は母乳一リットルを飲ましむべき一般的の法規を設け之を全國に宣布し右牛乳買入代金を支拂ひ得ざるものに對し政府は之を代辨することとなし又十二歳以上十四歳以下のものには肉類の使用を制限したるに依る斯の如く昨年九月迄獨逸の健康状態は良好なりしか同一の規定は之を白耳義にも實施せる爲め同國の死亡率も減少せり而して獨逸銀行總裁及アーエーゲー電氣會社々長等の談に依れば獨逸は戰時須要の物品は之を自國內にて供給するを得て戦争は之を無限に繼續し得るを確

信せりと云へり。

▲戰時の勞働状態 交戦各國の勞働状態は戰前と全く其趣を異にし各國孰れも戰前使用せざりし勞働者を各工場に使用せり是れ男子は凡て直接戦争に従事するを以て之に代ふるに婦女の活動を見るに至れるなり電車の如きも地上地下共に女子を使用せり獨逸に於て卓子掛けにリンネルの使用を廢止し代ふるに油紙等を以てせるか其理由を問へばリンネルは時々洗濯せざるへからざるに依り之に要する勞力を節約せんとて油紙を使用すと云へり此の如く微細の點に至る迄舉國一致の實を示し居れり又英吉利に於ては陸海軍に従事するもの五百萬人に上り此外四百萬人は軍需品工場に使用されつゝあり而して其不足を補ふ爲には婦女を以て之に代へたり佛國も亦同様なり斯くて英佛に於ては其製造工場の八割は悉く戦争に使用され居るも尙以て足れりとせず更に新工場を山間の地に迄建設せり就中佛國は獨軍の侵略を受け其工場の三分の一鋼鐵の七割五分鐵鑛の九割石炭の七割を奪はれたる爲め之か補充の必要に於ても軍需品工場の新設は一層の急務を感せり。

▲大規模の工場 英國の軍需品工場は其奥行二十哩巾行四哩に亘るの大規模にて設立され彈丸彈藥其他軍器軍需品の供給は實に絶對無限の勢にて製造されつゝあり又戦線に於ては其後方四十哩に武器彈藥一切の根據地を置き空前絶後の大規模計畫を以て軍需品の施設を完成せり例へば佛戰場

に於ける英國の施設は全英國の鐵道全道を擧げて之を一時に佛國に轉用せるか如き盛觀を呈し居れり而して内に於ては毎日數百の飛行機製造され其他海軍の如きも全く改造されたるか如き有様を呈し各方面に於ける活躍は吾人の決して想像し得ざる全く奇蹟的事實に充ざる特に佛國に於ては鋼鐵其他の鑛石を失へるに依り之を回復せる努力實に驚嘆すへきなり斯くて戰場に於ける勇往敢爲なる働は同時に工場組織に於ても實に偉大なる天才の發揮を説明せるなり

▲人類美點の發露 余は露、佛、英、獨、士各方面の人士を訪ひ又軍人の家族及大學教授等に接見し更に戰線に於ては司令部及將校團よりも種々の便宜を受け始めて各種の點に於ける人類の最大美點に接觸したる感を起せり蓋し人類の崇高偉大なる性情は時と場合に應じて其特色を發露すへきを學ひたり列車に滿載せる負傷兵は是何を語る者と吾人は日露旅順の戰爭に付きジョーデケナンの著書を読み其小説的勇氣を以て全く日本人特有のものと考えたり然るに今回の戰爭歐洲人も日本人と同様非常の場合に於て人間の力をして想像し得ざる極度に達せしめ得るを實驗せり。

▲米國宣戰理由 最後に米國宣戰の理由に付き約言すれば人類に對する同情及正義に對する滅亡更に云へは佛國が其生存に艱めるを以て其努力に對して援助し又英國が正義の爲め戰へるを見て之に對し同情を表せんと欲するに外ならず米國青年中には宣戰前より百萬二百萬の兵員を送り以て

佛國の急を救はんと欲したるものあり今や米國は斷然聯合側に加はりたる上は假令國土の半減され若くは富の大損害を受くことあるも正義を助くる爲め一步も退かざるへし此點は日本に於ても同様なり而して日本に於ける凡ての事情が其目的を貫徹するに極めて良好なる状態にあるは余輩の大に欣喜する所なり。

●東京製鋼近況

東京製鋼會社製品ワイヤロープ及びマニラロープは最近外國品の輸入杜絶せるに内地鑛山業船舶業活躍の爲め需要著しく増加したると露國其他支那方面に對する輸入激増の爲め好成績を擧げたるか引續き製品の需要頗る旺盛なれば深川、洲崎、小倉のワイヤロープ工場は工場内部の擴張に依り生産數量に三四割の増加を來し又月島兵庫のマニラロープ工場も今期より夜業を開始したれば生産數量に四五割の増加はあるへく此外前期より一部操業を始めたる府下大島製鋼工場は現在六百噸プレス一基を以て鍛鋼中なるか造船所及び機械製作業者等の注文は殺到せるも生産能力に限りあり今期は生産數量幾分増加する位に止まるへし又小倉製鋼工場の條鋼工場は二十五噸平爐一基にて三月六日より操業を開始したるか此の方は今期操業日數も僅かにて利益も多からざるへし。

●日東製鋼會社

日東製鋼會社は社長に井上角五郎氏事務に中島正賢氏を戴き大正四年九月資本金二十萬圓を以て創立さる元來製鋼事業には大規模の設備を必要とし従

て少くも二三百萬圓の資本を要するものなるに同社は創業に際し僅に二十萬圓の小資本を以て克く事業を成功せしむべく標榜し兎も角も可成の實績を收め事業も亦順調に進捗し來りしか偶偶製品の需要激増し小資本にては到底満足に供給し能はざる機運に逢着し且つ現在及將來に對する經營上に於ても最早昔日の舊方針を襲踏するの不可なるより結局本年一月八十萬圓を増資して總資本を百萬圓とすることに議纏り本月末か其拂込期日也同社工場は本社の所在地月島に在りて創業後三ヶ月にして作業を開始し一ヶ年製鋼能力約七千噸に達し製品は船舶用軸類及鐵道用車輪並にタイヤ等を主なるものとし鐵道院、海軍省、汽車會社、天野工場、石川島造船所、其他各船渠會社を始め函館、京都、岡山方面に却々需用多く特に昨今支那及印度方面の注文申込もありて今後は内地よりも寧ろ廣く海外に販路を擴張せんとする計畫なるか如し而して此計畫に備ふる爲め六鄉村に一萬五千坪の土地を買収し目下工場の建築及設備に晝夜兼行の狀態なるか遅くも來る七月迄には市場に製品を出すを得へしと謂ふ營業成績は第一期六分、第二期一割二分の利益配當を爲し第三期即ち當期も大體に於て前期に遜色なし唯同社の原料は時局の爲め著しく騰貴し爲に純益は比較的小額なるやの傾きあれと戦後物價平準に歸すれば秩序的の収益を擧げ得べく旁同社の發展は寧ろ戦後に在りと。

●大冶製鐵事業

大冶製鐵所敷地は鑛山に接近せる

楊子江岸七十五萬坪の地を相し四百噸の鎔鑛爐二基建設の計畫にて大島工學博士以下十四名の技師渡支夫々準備進捗中なり由來楊子江は十年に一回の洪水あるを以て之に備ふる爲め工場敷地も八尺程地盛を爲すの必要あり目下該土工々事中なり一切の工事竣工し事業開始を見るは大正八年末の豫定にして一ヶ年二十八萬噸の銑鐵を製出し得へし現在の大冶鐵鑛採掘高は一ヶ年六十萬噸にして此内三十二萬噸を日本へ供給し二十八萬噸を漢陽鐵工廠等支那への供給に充て居れるか三ヶ年後には百五十萬噸を採掘する豫定にて日本への供給は以後五萬噸宛を増加し將來最大限度五十萬噸は供給を爲すへき見込なり如上は採掘高増加に伴ひ鐵道設備をも改良し機關車の如きも一千馬力の米國最新式を用し鑛石運搬用の鑛車は現在十噸車なるを四十噸車に改め壓搾空氣により運轉する筈なり電氣工場は昨年出來の筈なりしも英國へ注文の機械製造遅延せる爲め工場の竣成を見るは明年末ならんと又安川敬一郎氏との合資にて九洲に設立さるへき製鋼所に對しても年額六萬噸の銑鐵を供給する豫定なりといふ。

●東京鋼材會社披露

明治三十七年以來東清氏の

獨力經營に係る東京スプリング製作所は歐洲戰亂發生後頓に盛況に向たるか更に其原料鋼材の輸入難對應策として大正五年東京鋼材製造所を創設し鐵道院及ヒスプリング工場に發條用鋼材を供給するの外各種鋼鐵を市場に供給し來り

たるが此程其組織を改めて資本金百萬圓(全額拂込)の東京鋼材株式會社を起し右兩所の事業を繼承し更に設備の擴張を行ふことゝ爲りたるを以て四月二十九日南葛飾郡大島町なる本社に於て其披露會を催し先づ工場作業を觀覽に供し餘興場及模擬店を開きたる後披露式を行ひ東社長の挨拶にて寺内首相、井上府知事の祝辭代讀其他來賓の演説あり終つて立食の饗應ありたるか當日の來賓は數百名に達し頗る盛會なりし。

●東洋製鋼創立

本月二日大阪商業會議所にて開會創立に關する各種の報告を終りて取締役に山口嘉藏、田艇吉、大島甚三、藤村忠己、黒澤浩監査役に宮崎敬介、小西喜代松、越知了一郎の諸氏を選擧したるか工場は西成郡福村に設置し汽罐及びハンマー等は基礎工事の完了と共に直に据付け得べく三ヶ月後には製品を出し得る豫定なりと。

●在英國瀧川製鐵所技師の通信

左の一文は去る三月四日英國グラスゴー滞在の瀧川氏より寄せられたる通信なるか米國製鐵業の一端を窺ふべきものあるを以て其一部を掲ぐる事とせり。

前略亞米利加旅行中ニューヨークにて乗船を待ち居り候隙にピッツバーグに參りカーネギーコンパニーの四工場と歸途コーテスヅキルなるラツケンスコンパニー所屬たる世界第一と稱する板工場(幅一七呎)を見學致し申候、小生等が見學仕候カーネギーの工場はクレールシヨン製鐵所、ド

クエイン製鐵所、エドガートムソン製鐵所及ホームステッド製鐵所の四工場に御座候中ホームステッドは亞米利加第一の工場との事に候故從つて世界第一と存じ候へばその作業統計と產出品產額を擧げ置き候。

作 業 統 計

總使用人數	一〇、〇〇〇人
一日に使用する車輛數	七、六三〇輛
車輛哩數	一二哩
一日產出額	二三、一九二噸
一分間の產出額	一六噸
一人一日に就き產出額	二四噸
製品一日產額	五、七五〇噸
甲鉄一日產額	三〇噸
鑛石一日消費量	五、八一八噸
石炭一日消費量	二、〇一四噸
天然瓦斯一日使用量	六二、七四一、九三四立方呎
軌道哩數	一二〇哩
煙突の總長	六哩九二
坪數	二七九坪五
建物敷地	五九、七エーカー
一日產出蒸氣力	一、二二二、七二〇馬力
一日產出電力	三四一、六八三馬力

產額統計(年產額佛噸にて)

銑	鐵	九八〇、〇〇〇
鋼	塊	二・七二五、〇〇〇
平	鋼	三三八、〇〇〇
鋇	類	五五〇、〇〇〇
ビーム	チャンネル	四三四、五〇〇
繼	目	四三、〇〇〇
車	輻	一一二、五〇〇
車	軸	一八〇、〇〇〇
市	場	三四、〇〇〇
甲	鐵	一二、〇〇〇
鑄	物	四、五〇〇

次に柄になき熔鑛爐に就て申上候へマタイトを使用致し居り候ひしかべセマーの粉鑛を煉物の状態にて装入致し居り候ため案内の技師にその譯を尋ね申候所裝入口の近にて柱狀固體となり骸炭と混合して粗質となり還元か早く出來ると申し居り候。熔鑛爐の形狀が亞米利加人と日本人との差の如く八幡製鐵所のと比べ申し候と胴が細く、丈が高き様に思われ候、四工場の平均をとり候へば 100×22 、及び 85×21 と相成候、朝顔の大きさを聞き申候が案内の人が忘れて知るを得ず候ひしが羽口は七吋平均にて主に十六本にて交互に五吋許り上下になり上下二列と相成り居候、非常羽口、砂床が何所の工場にもなかりしは骸炭及鑛石がよく風壓十二磅の作業を致し居り候へば大に我國製鐵所の人々

の參考に相成ると存じ申候、何れの工場も八パーセントの灰分を有する石炭を使用致し居り申候、機械の裝置は我が製鐵所とあまり變り申さず只ドクエーンにてはマッドガンの運搬が水壓機にて取扱ひ申候が職工が一交代一本に平均職工長を加入し六人或は七人なりしは驚き申候、伍長など云ふ不要のものは一人も見受けず候

爐の產出能力はドクエーン工場が 110×22 、爐にて一湯出に百噸に御座候、 85×20 は大抵何所の工場にも設備致され一湯出し八十噸にて時刻は皆五時間毎に相成居り候て一爐が一日に四百噸乃至五百噸を出銑する事に御座候平爐はホームステッド工場にあるものは三十八噸より九十五噸にて他の三工場は九十噸、七十五噸、五十噸を多く設備致し居り候、鹽基性へマタイト銑鐵に燃料としては天然瓦斯を使用致し居り候へば七時間に一度出鋼致し居候。瓦斯孔及爐床上の天上は鐵管をはめ冷水冷却を致し煉瓦積には天井も瓦斯孔の壁も目地を用ひず、積み方が餘程技巧を要する事と存じ申候、ピツツバーグには造塊掛を見ずに終り候が四工場は皆背注ぎにて唯大平鋼工場にては第四平爐工場より送る底注扁平鋼塊を直立瓦斯爐内にて灼熱せしめ之をスラブに壓延しロール、コンヴェヤーにて一二八吋板工場に送り再熱致さずそのまゝ壓延致し居り候工場にて其用に供する材料は底注にて二噸より三噸半にて其外は百八十磅ロール、十七吋ビーム、チャンネルも又百四十吋

板も何れも背注ぎにより作業致し居り候

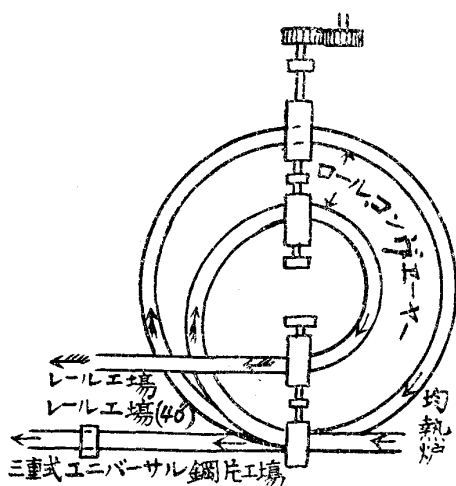
灼燒爐はエドガー工場が一番大仕掛にて候各孔には四個の鋼塊を入れるに足り孔數二十一箇を算するもの七列にならび居り候て四工場共天然瓦斯を使用致し居り候又延塊ロール工場はエドガーが最大にて直徑三十二吋、三十吋、二十八吋、二十四吋、二十吋の鋼塊を四十八吋二重連續式ロール機にかけ居り候がそのロールは四臺並列致し其のローリングの方法は圖に示し候様にて小生が見學致し候時は二十吋中にて候ひしが五度ぐりて十四吋位に相成り候、三十吋、三十吋の大なるものは同じ道を四五度も通過してロールさるゝ由に御座候、第一の粗ロールを通過し直ちに四十吋三重式ユニバーサル、ロール工場にて角鋼片になるもあり候、一つ一つ交代に連續式ロールとユニバサルロールにかけ居り候、ユニバサル、ロール工場にはブルーム、及スラブの製作は前述致し候通四十八吋三重式のユニバサル、ミルにて一方製品を作り他に百二十八吋板工場を同工場に設置しあり平鋼場で鋼塊を壓延しスラブとして、ロールコンヴェアアーにより送り候、

エドガー工場の軌條鋼ミルは三十二吋三重式三基、二十八吋、三重式二基、及二重式一基、二十四吋三重式三基及二重式一基ブルーミング、ミルと連絡し同一工場内にて製品と致され居り候。

ドクエーンにて注意を引き申候は四十吋逆轉式延塊ロー

ルを通りたる十吋位のビレットガツイステンゲ、マシンのロール八箇なるを然して各ロールの穴は四角の角を四十五度に扭りたるものにてロールとロールとの間は五呎乃至六呎にて候が最後には丸棒として製出致され候徑四吋位にて製出を熟視仕り候にねぢられゝて製出致され候抗力も強く伸びも劣らず又韌性も此の作業にて増加致ざると存候。

次でホームステッド工場は亞米利加第一の工場に候へども千八百八十年にピッツバーグ、ベセマー製鐵所として設立致されしが千八百八十三年にカーネギーの所屬となり其の後擴張に擴張を行ひ今日の大工場に相成候由、されど始め小規模のものが大擴張を致されし製鐵所と同様にて熔



鑛爐は隅田川の二倍もある川の向側に有之候、平爐も四工場に別れ、第一と始めに出来た工場は三十八噸七臺、三十噸二臺、二十五噸一臺にて第四は六十噸十臺、七十五噸四臺に御座候、第二には

十五噸の電氣爐一臺設備致され候。

延塊ロール工場は四十吋二重逆轉式ロールが三十五吋ストラクチュラル、ミルと之に三十三吋三重式及二十三吋三

重式、ストラクチュラル、ミルと前述の大平鋼(四十二吋)と及び百二十八吋板工場とが同一工場にて作業致し居り候が二十八吋及二十八吋二重逆轉式延塊ロール(同工場)は四吋以上の半製品を各工場に供し三十二吋厚板ロールは百四十吋、八十四吋及七十二吋の板工場の、又三十吋厚板ロールは百二十八吋板工場の材料を作り申候が製鐵所同様各工場もシーメンズ式再熱爐を供へ居候初めに餘裕をとりをかずして擴張を後より致し候へば製鐵所と同一の運命に陥り損失が多額に生ずる事と存じ尙アメリカにても好き實例を實見仕り候板工場は凡て仕上後プレートストレーナーに冷水を用ひ製板をやゝ冷却せしめて後ロールに冷水をかけて冷間ローリングを致し候。

甲鐵板工場は絶體に參觀不許可に御座候、軸材、及タイヤ工場は見學仕り候が製鐵所の如く平凡にて豫め其形を與ふる必要なく器械にて萬事仕事致され居り候(後略)

左に一吋カーネギー工場全部調書を記し置候

一般統計

總使用人員

一日鑛石消費量(佛噸)

三七、〇〇〇
四〇、〇〇〇

同 石 炭

八、〇〇〇

同 骸 炭

一九、〇〇〇

同 石 灰 石

一〇、〇〇〇

同天然瓦斯消費量(立方呎)

一六〇、〇〇〇、〇〇〇

鐵道軌條標準ゲージ哩數

二六〇

一日產出蒸氣力(馬力)

七、二五〇、〇〇〇

雜 錄

同 電 力	八五〇、〇〇〇
一日產額(佛噸)	九五、〇〇〇
一日製品產額(佛噸)	二〇、〇〇〇
各種製品年產額(佛噸)	
銑 鐵	八、三八一、〇〇〇
滿俺鐵及鏡鐵	一〇八、〇〇〇
轉 爐 鋼 塊	三、九三〇、〇〇〇
鹽基性平爐鋼塊	五、〇五八、〇〇〇
ブルーム・ピレット・スラップ	六、九八〇、〇〇〇
煙 塵 團 鐵	一二〇、〇〇〇
骸炭(副產物採取式)	五〇〇、〇〇〇
製品一年間の生燭力(佛噸)	
飯 及 棒 類	一、六四〇、〇〇〇
市 場 飯	一、二二〇、〇〇〇
ビーム、チャンネル、アングル等	八七四、〇〇〇
軌 條	八六八、〇〇〇
車 軸	一八〇、〇〇〇
丁 形 鋼	四三、〇〇〇
支 柱 材	一、〇〇〇
鋼 飯 材	一五、〇〇〇
挾 接 飯 材	一〇四、〇〇〇
煙 突 材	一八、〇〇〇
車 輪	一一二、五〇〇
扭 棒	四五、〇〇〇
市 中 棒 等	一、四五〇、〇〇〇
スプリング材	三、〇〇〇
鑄型鑄物及ロール	一二、〇〇〇
甲 鐵 飯	一二、〇〇〇
合 計	六、七六〇、五〇〇